

下館ロータリークラブ会報

発行日：平成 29 年 8 月 23 日

第 02447 号



ロータリー：
変化をもたらす

イアン H.S. ライズリー 2017-18 RI 会長

祇園祭 (7月最終週の木曜日から4日間)

玉のような汗を飛ばす男衆の大神輿。

若き女性の肩にゆられる姫神輿。

筑西最大の夏の風物詩「祇園まつり」の
迫力とエネルギーは圧巻です。



今 週のプログラム

外部卓話 (8月23日)

西村有一様 (筑西きぬRC)

次週のプログラム

外部卓話 (8月30日)

尾家啓之様 (常陽産業研究所)



会長/永盛 武 副会長/加藤昌美 幹事/中里泰久 会長エレクト/永井啓一
クラブ会報・広報・雑誌・記録委員会 委員長/神山芳子 副委員長/菊池祥明・木幡 浩・堀江 勤

例会 毎週水曜日 12:30 ダイヤモンドホール(〒308-0847 茨城県筑西市玉戸1053-4 ☎0296-28-8511)
ホームページ <http://www.shimodate-rc.gr.jp> Eメール shimodate@ri2820.jp



前例会報告 第2800回 2017/8/9(水)

会長挨拶

永盛 武会長

我が国において8月という月は特別な月です。特に今日は昭和35年5月25日下館クラブ創立以来2800回という記念すべき例会に関名誉会員をお招きできましたことであります。ご多用のところお出で頂きまして心よりお礼と感謝申し上げます。

名誉会員関正夫様と私の出会いは、私が35歳の時、下館青年会議所創立時でありまして、以来今日に至るまでそれこそ語り尽くせないほど大変お世話になっております。

皆さまご存知のとおり関様は筑波大学の江崎玲於奈賞のスポンサーをされております。この賞が決まりましたいきさつの生き証人は、誰だろう、実はこの私1人です。関様の承諾を得てお話しさせていただきますと、平成15年5月20日下館法人会研修会に村上和男先生の講演がございまして、その後の懇親会の席で、関様が私を村上先生に紹介してくださり、その歓談中に村上先生から突然「関さん江崎玲於奈賞をつくりたいのでスポンサーをしてヨ」との要望がだされました。このことがキッカケで江崎玲於奈賞が生まれたということです。世の中の大事も酒席で決まることが多いとは聞き及んでおりましたが、正にそうだな!と思った次第です。今日の一言「人間の五衰」安岡正篤著〈木の五衰ということがあるが〉人間もそうだ。いろいろの欲ばかり出して、すなわち食欲・多欲になって修養しない。つまり省しない。そうすると風通しが悪くなる。つまり真理や教えが耳に入らなくなる。そうすると「裾上がり」と言って、人間が軽薄にオッチョコチョイになってくる。そうするともう進歩は止まってしまう。すると悪いことばかりに親しむようになる。虫が食うのだ。つまらないやつにとりつかれ、そして没落する。

幹事報告

中里泰久幹事

公益社団法人 茨城県青少年育成協会より機関紙「あけぼの」が届いております。

親睦活動委員会

百目鬼委員長

一泊懇親例会のご案内

日時 10月27日(金) 場所 筑波山江戸屋
集合 PM6:30 現地集合～翌日現地解散
参加費 10,000円 〆切 9月27日
多くの方の参加宜しくお願い致します。

第2800回記念卓話

関正夫名誉会員



普段は、いろいろ氣を使っていたきありがとうございます。2800回の記念例会で何かしゃべれとのことですが、私が下館に来たのが昭和35年。確か、その年に風戸さんはじめ水戸の人達が幾度も下館に来て、その人達のご尽力があり、翌年下館ロータリークラブが誕生したと記憶しております。

この年は、池田総理が所得倍増論をかけた、自動車の普及、山崎パン、ナビスコ等が登場。食生活をはじめ我々の生活そのものが大きく変わる日本のスタートの時期であったと思う。

先程、歴代会長、幹事の名簿を頂いたのですが、これを見ていると真剣に商売の話等をした懐かしい顔がたくさん浮かんできます。

今、話題の北朝鮮ですが、これを見ていると、私が生まれた頃の日本。陸軍の力が非常に強く、いろいろ拘束され自由な行動が取れないと国際連盟を脱退した頃の日本と重なってくる。これから、どのような時代になるのかを考えなくては行けないが、先の事を長期的に見るのは大変難しいが、今生きていられるのは、ご先祖のお陰。今一生懸命に生きるのは後世のためである。

この頃は、ゴルフを減らして般若心経をしています。チョット時間が長くなるかも知れませんが、ここで白隠禪師を紹介します。

白隱禪師施行歌全

駿州原の剛捷導師^一近曾此施行歌を作りて若^二少に誦^三國中の在郷をめぐらせ窮民を救ふ一詠とし玉へば、諸人此文に會得し、豪家をはじめ其分限相應に施行し、貧困をすくひける。今これを梓にして四方に弘め^四今世に心にもとづく便ならん事をねがふのみ。

平安書林
合梓

白隱禪師施行歌序

白隠禪師は施行歌を作りて老少に誦はせ、遠近より千金を施ししめ、

施行期

窮民を救ふ。年の豊凶、人の貧富に徇^{したが}つて、施^しす人も受^うける人もみななく善緣に隨^{したが}つて、即佛の因となる。しばらくの事勝經によりて小乗の禪より大乘の禪に入しめんとの法語なり、これを月のゆふべ花のあけぼのしたに風流なる曲館に調ひたまはば、布金の都に至らん事疑ひあるべからず。

寬政三歲辛亥冬臘月

[illegible]

白隠禪師施行歌

今生富貴する人は、(1)前世に蔭をく種がある、
今生施しせぬ人は、未來はきわめて貧なるぞ、
利口で富貴なるならば、鈍なる人はみな貧か
利口で貧乏するを見よ、

此世は前生の種次第、未來は此世のたね次第、富貴に大小ある事は、蒔種^{まきこ}大小あるゆへぞ、この世はわづかの物なれば、よい種^こえらんでまきたまへたねを惜みてうへざれば、穀物^{こくぶつ}取たる例なし、田畑に麥稈^こ蒔ずして、麥ひへ取たるためしなし、

施行歌

むきひへ登升まきをけば、五升や登斗はみのるぞや
然れば少しの施しも、果報は倍々あるもので、
況や施し多ければ、くわほうも多しと斗りしれ、
それゆへにお慕迎もの、觀音も施せよとすゝめたり、
〔天保七年^今生當賣する人は、前世に壽を種ゆや、今生施せよ
實をぞ、利口で富貴なるならば、どんな人はみな貧か、どんなも富
貴なるもあり、此世は前生の種しだい、未來は此世のたね次第
ね大かあるゆへぞ、實に大小ある、非難に大小あるゆへに〕
つに野わら、田畑に繁華に大小ある、腰物取りを例し、蘇精少しま
貴なり、しかれば少しの施しも、果報は倍々有物ぞいはんや多
思ふし、夫ゆへ御慕迎も觀音も施せよとのすゝめ也。

(1) 前世Ⅱ濁音読みの記事あり。
 (2) 鈍なる人Ⅱ愚かな者
 (3) 観音Ⅱ「辺鄙以知吾」上二三丁
 裏に「クワンラン」とありがな
 あり。「日葡辞書」カシオン。

(3) 觀音 卽「邊鄙以知吾」上二三

あり、「日葡辞書」「カンオン」

一門繁昌する事は、親が惡事をせぬゆへぞ、
 若又親にはなれなは、ますゝ重恩思ひしれ、
 子を慈しむ親ごろ、の荒ひ風をも厭ひしぞ、
 それ程親に思はれて、親を思はぬおろかさよ、
 おやに不幸な人トは、鳶や烏に劣りたり、
 娘むす子をしつけるに、憎むたからはなき物ぞ、
 親の後生の爲ならば、其金出して施行せよ、
 飢死ぬ人を助けなば、是に勝れる善事なし、
 一門保七年度、親の心で子をおもひ、あらひ風にもいとしぞ、それほど親に思はれて、親を

の、外や種々繁盛や計を計算
 でごまかして利を得ず
 商家の善公人が、私利のため
 に親徳をこまらすことを「鑑
 先で行くなどという、

施行歌

思はぬ人は、鹿からすにもおどろたり
観あるも鹿施行して、鹿の後生のためにせよ。鹿
鹿の發行より、鹿ををしけるに、おしゝる資がたならぬ物。そのかわりぞと施行せよ。直に、
我子の折斷なり、それにしたしたる者なし。

(一) 親ひ鳥を、鹿ひし。(二) 五年小うさうが徳に當ひ。
鹿の國(三) 鹿の國(四) 鹿の國(五) 鹿の國(六) 鹿の國(七) 鹿の國(八) 鹿の國(九) 鹿の國(十) 鹿の國(十一) 鹿の國(十二) 鹿の國(十三) 鹿の國(十四) 鹿の國(十五) 鹿の國(十六) 鹿の國(十七) 鹿の國(十八) 鹿の國(十九) 鹿の國(二十) 鹿の國(二十一) 鹿の國(二十二) 鹿の國(二十三) 鹿の國(二十四) 鹿の國(二十五) 鹿の國(二十六) 鹿の國(二十七) 鹿の國(二十八) 鹿の國(二十九) 鹿の國(三十) 鹿の國(三十一) 鹿の國(三十二) 鹿の國(三十三) 鹿の國(三十四) 鹿の國(三十五) 鹿の國(三十六) 鹿の國(三十七) 鹿の國(三十八) 鹿の國(三十九) 鹿の國(四十) 鹿の國(四十一) 鹿の國(四十二) 鹿の國(四十三) 鹿の國(四十四) 鹿の國(四十五) 鹿の國(四十六) 鹿の國(四十七) 鹿の國(四十八) 鹿の國(四十九) 鹿の國(五十) 鹿の國(五十一) 鹿の國(五十二) 鹿の國(五十三) 鹿の國(五十四) 鹿の國(五十五) 鹿の國(五十六) 鹿の國(五十七) 鹿の國(五十八) 鹿の國(五十九) 鹿の國(六十) 鹿の國(六十一) 鹿の國(六十二) 鹿の國(六十三) 鹿の國(六十四) 鹿の國(六十五) 鹿の國(六十六) 鹿の國(六十七) 鹿の國(六十八) 鹿の國(六十九) 鹿の國(七十) 鹿の國(七十一) 鹿の國(七十二) 鹿の國(七十三) 鹿の國(七十四) 鹿の國(七十五) 鹿の國(七十六) 鹿の國(七十七) 鹿の國(七十八) 鹿の國(七十九) 鹿の國(八十) 鹿の國(八十一) 鹿の國(八十二) 鹿の國(八十三) 鹿の國(八十四) 鹿の國(八十五) 鹿の國(八十六) 鹿の國(八十七) 鹿の國(八十八) 鹿の國(八十九) 鹿の國(九十) 鹿の國(九十一) 鹿の國(九十二) 鹿の國(九十三) 鹿の國(九十四) 鹿の國(九十五) 鹿の國(九十六) 鹿の國(九十七) 鹿の國(九十八) 鹿の國(九十九) 鹿の國(一百)

信濃の雪国へ」。龍翔寺蔵「燈
賛している

10

たとひ萬貫長者でも、死んで身につく物はなし、妻も子供も、鍔金も、捨て眞途の旅立ぞ、眞途の旅立する時は、耳もきこへず目も見へず、行衛しらずに門をいで、闇をやみちに入事ぞ、其時後悔限りなし、兎角命のあるかぎり、菩提の種をうへたまへ、

天保七年戊辰　たとひ萬貫長者でも、死んで身につくものはない、妻も子供も、鍔金も、捨て

でも、死んで身に付ものはない、妻も子供も銭金も、捨て

施行歌

以外、利や算盤や、筆の非道をし給ふな、
 常々商ひする人も、あまり非道な利をとるな
 死んで三途に入事ぞ、其身は三途に落入て、
 屋敷は草木が生蕃る、
 非道は子孫の害と成、親の惡事が身に酬ふ、
 世間に數く有物ぞ

二天保七年版外、**齊**字をさうばんや、**齊**しかね間ひする人は**齊**で非道をしたまふな
非道をすることは、死んで三途に入る事、其身は三途におち入て、罵しきは草木がおひひげに
たつとひ草木はは、死んで非道の齊の總となる、おのゝ當果れぬわいに、**齊**に施
せらるゝ人、**齊**者に施して世にも、**齊**者にくらす甲斐はない大で日はすぎるぞや、**齊**に施
齊者をいぬふりて、くらすには鬼神よ、**齊**者に施する人を、神も助めぬみけり、神と怪
けに害れば、天罰の道にかづかずしかれば、分初になる事、是をよくゝ了簡しよと

命は脆きものなれば、露の命と名づけたり、
今宵頭痛が仕始めて、九死一生なるもあり、
強い自慢をする人も、暮に頓死をするもあり、
けふは他人を葬禮し、明日は我身の葬禮で、
然れば頼みなき婆婆に、金銀善へ何にする、
「天保七年戊辰、命はもろきものなれば、露の命といひもする、今宵頭痛がしはじめて、ついに死病になとも有、朝はけんわをせし人が、暮に頓死をするも有、けふは他人の葬禮し、あすは我身の葬禮ぞ、しかればたのみない婆婆に、いつ迄生る心ぞや、
善哉のたねを龍玉へ、

ない娼婆に、いつ迄生る心ぞや



ふうきさいわひある人は、貧者に施しせらるべし、貧者に施しせぬ人は、富貴でくらすかひもなし、狗でも口はするぞや、飢人貧者を助くべし、慈悲善根は其儘に、家繁榮の御祈禱ぞ、慈悲善根をする人は、神や佛に守られて、天魔外道はより付す、然れば祈禱になるまいか、よくー丁簡せらるべし、の恵施しならぬとは、餘りどうよく目にあまる、飢死ぬ貧者を見ぬ振に、暮すころは鬼神か、慈悲善根のなき人は、子孫はんじやう長からじ、實は餘りはなき物ぞ、施行で借し初めよ、それこそ眞の信心よ、

「天保七年版」この趣旨、前出二四頁に出たとを再録する、おのゝ書費をさいわいに、貧者に施せらるべし、貧者に施しせぬ人は、富貴でくらす甲斐なし、大でも口はするぞや、飢死ぬ貧者を見ぬ振に、暮すころは鬼神か、貧者に施しする人、神も佛もめづみけり、神やほとけに恵まれば、天魔外道はちがつかずしければ祈禱になる事よ、是をよくー丁簡しよくー丁簡しきよめて、恵施し爲すへよ、

①口はするぞやと云う、下、それこそ眞の信心よ、

②恵施しならぬとは……以て天保本にはない、

上なる人をはじめとし、頭立たる人トは、われもーと共トに、厚く施行に身を入れよ、貧者の命救ふなら、廣大無邊の善事也、平生貧者に敬はれ、身に付果報有まいか、人の喰物するのを、好んで拾ふてくう物は、

施行歌

前生に蔭種たらぬゆへ、是非なく袖乞する事ぞ、かゝる有様見ながら、をのー仁心起らぬか、のこにも角にも人として、信心なければ人でなし、此節信心起らねば、全牛馬にことならず、

聞提導師施行歌終

「天保七年版」けふを食する人は、なんじやし好んでくう物か、人の喰わけする物このんでもらふ人はない、前生にまくたねたらぬ故、是非なく袖乞する事ぞ、かゝるありさま見ながら、おのゝ不便はおこらぬか、かしらしたる人ト、又、本トも、相應に、我もーととよくーにあつく施行に身を入れよ、功德を積むは此時ぞ、我日本の八百萬神の心にかなふべし、

天保七丙申十一月施行

播州神東郡八反田村 岸上

御志の御方は御たづね被成候へば進じ可申候、

の頭立たる人トーの上に立、のこにも角にも人としてし、

つ提導師

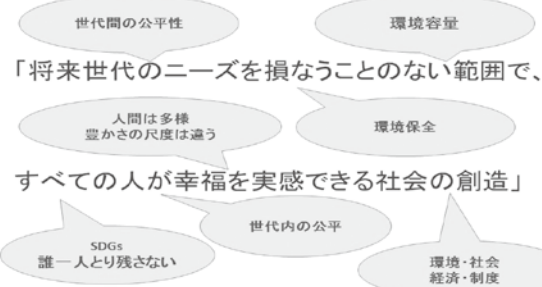
最末まで天保本になし、

会員卓話

新井和雄会員

国連持続可能な開発と国際ロータリー②

持続可能な開発



持続可能な開発と人間開発

「将来世代のニーズを損なうことのない範囲で、現代の人々が幸福を実感できる社会の創造」



SD = f(社会, 環境, 経済)
「人間開発の基本的な目標は人々の選択域を拡大することである」
人々が健康で長生きし、必要な収入を得、創造的な人生を享受できる環境の創造である。



下館RCのネパール教育支援 (プロジェクトサイクル)



スマイルBOX 岩崎晴男委員長

▶関正 夫さん 2800回例会を祝して。

関正夫名誉会員の2800回卓話を楽しみにしております。宜しくお願いします。

永盛 武さん 中里泰久さん 永井啓一さん
瀧田昌甫さん 日向野陽さん 小林一彦さん
加藤昌美さん 新井和雄さん 鈴木光則さん
早瀬浩一さん 佐藤 昭さん 島田 茂さん
馬場 保さん 武井宏樹さん 舘野 博さん
鈴木健一さん 潮田武彦さん 木幡 浩さん
秋葉浩一さん 黒澤昌之さん 岩崎晴男さん
百目鬼博行さん

▶神山芳子さん 関名誉会員のご来訪を歓迎致します。本日ご後援いただきました当スクール発表会のチラシを配布させていただきました。どうぞ宜しくお願い致します。

本日の合計 34,000円 累計 165,000円

出席報告

鈴木光則委員長

会員数	出席数	欠席数	病欠	免除
32	23	7	0	2

■メイクアップ (敬称略)

7月27日 東京四谷RC 神山芳子

8月8日 古河衛星クラブ 神山芳子